

コミ協だより

No.

031

入舟地区コミュニティ協議会

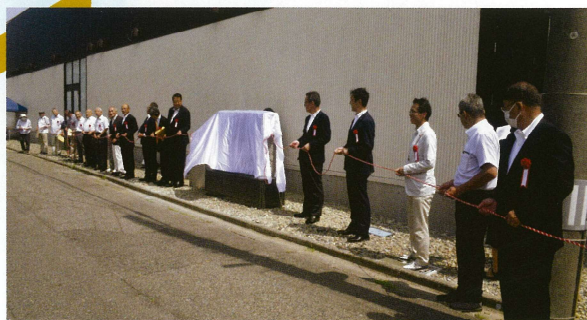
「ひらせいホームセンター」オープン



旧コミセン跡地に【ひらせいホームセンター】が8月1日にオープンし、営業を開始しました。翻って見ると、「旧コミセンの跡地を地元で有効利用しよう」との強い想いで、跡地検討委員会、また関係方面とも回を重ねて協議を進めてきました。

その結果、現在の【ひらせい】を誘致出来ました事を大変嬉しく、重く受けとめております。その跡地検討委員会も本年4月の最終会議で一応役目を終えました。

この地域にスーパーマーケット・100均を含む商業施設が出来て、しもまちが利便性を増して、活性化が持続することを大いに期待しています。



【新潟市工之跡】が移設されました

旧北部コミセンの跡地の場所には、S25～S57まで新潟市立工業高等学校（いちこう）があり、下町唯一の高校が在りました。約7,000名の卒業生が巣立ったという歴史と下町の文化がありました。この存在を証とする【新潟市工之跡】記念の石碑が地域の皆様はじめ、卒業生や多くの関係者の協力のもと、ひらせい様の地域貢献活動へのご理解が得られ、同地の敷地内に保存されることになりました。そして、この度移設再建され、7月31日に卒業生や地元住民等関係者、約50人が参加して除幕式を行い再建を祝いました。

（8月5日の日報朝刊に掲載されました）

石碑保存の会では台座や地震対策工事で約100万円の経費が掛かったため、卒業生や地域の住民の方々、地元の企業様など広く寄付を募っています。

ご協力頂いた方々へは厚く感謝申し上げますと同時に、引き続き皆様へは保存活動への協力をお願いします。

附船町一区町内会 近藤 清



「新潟市工之跡」石碑移設について

この附船町一丁目には、昭和20(1945)年～昭和27年まで、新潟市立工業高等学校(通称「市工(いちこう)」)があり、機械科・電気科・造船科、働きながら学ぶ定時制の生徒を含め、約七千人の若き技術者が巣立ち、下町新潟の発展に貢献しました。昭和39年の新潟地震では、下町一帯が崩壊したうえ、津波による浸水被害が約2週間続きました。が、前年に改築された市工の鉄筋コンクリート校舎は、地域の方々の避難場所となりました。新潟市立高等専門学校の一環として、白山高等学校と市立工業高等学校が統合し、その統合新校として昭和55年4月、新潟市立高山高等学校が附船町(現附船1丁目)に開校しました。昭和56年3月には市立工業高等学校の定時制開校記念式典が挙行され、同年11月には、新潟市教育委員会、市PTA、市工同窓会等卒業生後援会参加のもと「新潟市工之跡」の石碑が再建されました。その石碑は、昭和50年4月から令和元(2019)年まで北陸総合コミュニティセンターとなり、数回の修繕や運動場として、下町の人々に親しまれた施設でした。この石碑は、新潟市立工業高等学校の歴史と学びのあったことの証としてあり、下町唯一の高校の歴史と文化の記憶を後世に繋ぎ「新潟下町の記念碑」です。この石碑の移設・再設置が出来たのは、下町の町長と卒業生 400 人以上の協力及び、株式会社ひらせいの社会貢献事業によるもので、ここに感謝申し上げます。令和5(2023)年7月 「新潟市工之跡」石碑保存の会



役員紹介

- ①自己紹介
- ②役員としての抱負
- ③趣味 その他

入舟地区
コミュニティ協議会
令和5年4月現在
登録自治会
31自治・町内会
世帯数 2,243世帯
居住人口5,333人



会長



田村 幸夫

- ①附船町三・室町一自治会会長
コミ協会長として15年 この間コミ協事務所の移転やコロナ禍でのコミ協活動に苦労しました。
- ②入舟コミ協は新潟一のコミ協と評価されてきました。今後も安全で安心して暮らせる地域づくりに努めます。
- ③皆さんと一杯やりながら話をしたいと思っています。

副会長



豊島裕美子

- ①入舟地区自主防災会副会長
しもまち笑顔の家会長
人の為になる事、人との繋がりを大切にしています。
- ②地域の課題がたくさんあると思いますので、一つ一つ丁寧に取組みたいと思っています。
- ③孫の相手

副会長



久保田文博

- ①下町を良くする会会長
コミ協発足以来ずっとコミ協活動しています。
- ②ライオンズクラブで習ったウィサーブ(我々は奉仕する)の精神で微力ですがコミ協発展の為尽くします。
- ③趣味は幅広く、海洋レジャーからサケ漁、野菜作り、果樹栽培等々行っています。

副会長



高橋 誠一

- ①赤坂町一丁目自治会
会長28年目
入舟地区防犯協会会長
中央防犯協会連合会 会長
県防犯協会監事
- ②現在高齢化率が高いこの地区に若者達が移住定住しやすい仕組みづくりに取組んでいます。将来居住人口を増やし賑やかな町を取り戻したいと思っています。
- ③映画鑑賞
ドライブ

総務部会部長



宮尾 益史

- ①水戸地区自治会
会長7年目
- ②会員が暮らす地域の安心・安全を支援していきます。成長した子供たちが地域の生活を続けられる、他地域・国の人達が移住したくなる魅力ある地域づくりを目指します。
- ③読書
ランニング
音楽・映画鑑賞
証券アナリスト検定会員

部会活動紹介



お互いさまサークル事業

「ウォーターシャトルに乗って下町再発見」事業を実施して

健康福祉部会 部長 関根 康

8月20日(日)、これまでのふれあいウォーキング参加者からも要望が上がっていたウォーターシャトルに乗って、水上といういつもと違う目線で下町風景を満喫しながら、下町の良さを再発見していただくとう「ウォーターシャトルに乗って下町再発見」事業を実施いたしました。当初、心配していた参加者数も、日を追うごとに増え、想定していた80名を超える申し込みをいただくことができました。これもひとえに、各自治会・町内会のご協力あつてのことと感謝申し上げます。

前半は、みなとびあ学芸員の藍野かおり様から、「信濃川と下町の発展」と題してご講演をいただきました。



その後、ウォーターシャトルに乗りこみ、旧税関～万代橋～八千代橋～信濃川鉄橋～昭和大橋～千歳大橋付近で折り返し、万代島、右岸の西港湾湾施設～河口の灯台付近で折り返す周遊を楽しみました。その間、要所要所で、藍野様から新潟発展の経過説明があり、充実した周遊となりました。

また、デッキでは、カモメに餌をあげる姿も観られました。実施後のアンケートでは、94%が今回の企画を良いと判断し、83%がまた参加したいと答えてくれました。併せて、藍野学芸員の講演やガイドが非常に良かったとお褒めの言葉を沢山いただき、部員一同安堵しています。ありがとうございました。

健康福祉部会部長



関根 康

- ①志願町自治会会長
6年目 67歳
- ②先人の育てたコミ協を大切にしつつも、今の私たちに必要なら方を皆さんと共に考え取り組んでいきたいと思っています。
- ③多趣味ですが、秀でたものありません。新特におけるとすれば絵画製作。

こども育成・安全部会部長



熊谷 哲秀

- ①窪田町1.2.3.4自治会会長
- ②「子供は地域で育てる」をモットーにした小中学校の方針に沿った活動をする。また、町内においては国籍・年齢を超えて住みよい環境づくりに注目する。
- ③趣味を兼ねて地域工ピソードの一つ。新潟市のごみ収集メモディー「赤とんぼ」を発売したのは当時の入舟小学校の女性教師とのことです。

防災部会部長



玉木 幸一

- ①入舟地区自主防災会会長75歳
消防業務経験を活かして活動しています。
- ②何時起きるかわからない災害に対し、防災訓練等で防災意識を高めたい。
- ③野菜作り
盆栽作業

監事



徳吉 勉

- ①赤坂町二丁目自治会 副会長
昭和38年野球で夏の甲子園 秋の山口国体に出場翌年39年新潟国体と新潟地震でした。現在78歳
- ②コミ協役員は初めてですので、コミ協の組織等を理解し、協力し合っていきたい。
- ③野球等スポーツ観戦
旅行

監事



川本眞貴子

- ①赤坂町三丁目町内会会長
昨年町内会長として、周りの役員さんに助けてもらいながら活動しています。
- ②「みんなで仲良く」を心掛けています。
- ③今年もシティマラソンのフルマラソンに参加します。

新加入団体紹介

新潟下町をよくする会

当会は新潟下町の豊かな町づくり 幸せ 繁栄を図ることを目的に設立して27年がたちます。下町が大好きな会員は現在40名で①西海岸公園、附船三角公園の植樹や清掃活動②海岸の清掃やパトロール③みなとぴあにおいて、春は桜コンサート、夏は夕涼みコンサート④海岸ではビーチライフinニイガタ等の開催をしています。昨年は名誉なことに、国土交通大臣から「海洋環境保全奉仕活動功労表彰」の大臣表彰を受賞しました。

入舟コミ協加入により地域の各団体とも協力して下町地区の幸せづくりの為にさらに活動していきます※新会員募集中です一緒に楽しみましょう！

会長 久保田 文博



チームオレンジINしもまち

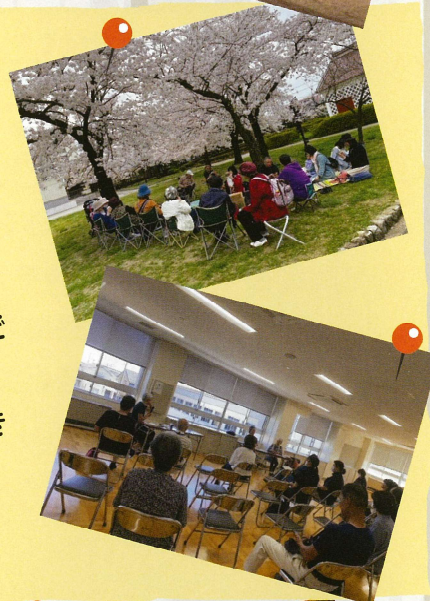
私たちは認知症になっても住み慣れた地域で暮らせる地域づくりをしています。「認知症」は誰でもなりうる病気です。

具体的には毎月第3水曜日に主に北部総合コミュニティセンターで活動しています。認知症をテーマに勉強会や認知症カフェをしています。

また、年に1回はいかい模擬訓練なども行っています。認知症の方やそのご家族など、認知症に少しでも興味がある人であればどなたでも参加できます。認知症を支援している専門職も多く参加しています。ちょっとした相談もできます。勉強会は無料、カフェ参加費は200円です。

第3水曜日は北部コミセンにきませんか？

代表 須貝 秀昭 (NPO法人 身寄りなし問題研究会)



地域の茶の間 しもまち笑顔の家

「地域の茶の間 しもまち笑顔の家」は、新潟市中央区にある地域包括ケア推進モデルハウスです。毎週火曜日と金曜日の10時から15時まで、地域の高齢者が気軽に集まり、困りごとを相談し合ったり、手作りのお茶やお菓子を楽しみながら交流を深めたりしています。

また、「笑顔の手」という参加券を用いて、ボランティアによるお手伝いを助け合うこともできます。施設内では、送迎サービスも行っており、通所困難な方には無償で提供されています。

笑顔の家は、地域の方々の相互支援を促進する場として、フレイル防止の一翼をも担っています。

会長代理 佐藤 高陽 (済生会地域包括ケア連携士)



編

集後記 総務部長 宮尾益史

既存団体名
 * 入舟地区社会福祉協議会
 * 中央区日赤入舟分団
 * 入舟地区自主防犯協会
 * 入舟地区防犯協会「長寿」
 * ラジオ体操で

この度、鈴木喬さんの後任として「コミ協だより」編集長に就任した宮尾です。編集の仕事は初めてで判らない事だらけです。他の編集委員の方々と相談しながら、鈴木喬さんが「コミ協だより」に注いできた「思い」をしっかり引き継いで、よりよい「コミ協だより」を発刊していきたいと思ひます。